

# 調査結果の概要

## 1 発育状態について

愛媛県の子どもの発育状態を、全国平均や平成27年度の県平均と比較してみると次のようになる。

### (1) 身長

前年度県平均との比較では、男女とも6歳から17歳の各年齢のほとんどで同じか、若干上回っているが、全国平均との比較では、男女とも全ての年齢で下回っている。

- ・男子は、前年度県平均と比べると、6歳、7歳、9～16歳で同じか最大で0.4cm上回っているが、全国平均と比べると、全ての年齢で、0.5～1.1cm下回っている。
- ・女子は、前年度県平均と比べると、6歳、8歳、9歳、12～16歳で同じか最大で0.3cm上回っているが、全国平均と比べると、全ての年齢で、0.3～1.0cm下回っている。

### (2) 体重

前年度県平均との比較では、男女とも6歳から17歳の各年齢のほとんどで同じか、若干上回っているが、全国平均との比較では、男子は全ての年齢で、女子はほとんどの年齢で下回っている。

- ・男子は、前年度県平均と比べると、6歳、7歳、9～12歳、14歳、16歳、17歳で同じか最大で0.5kg上回っているが、全国平均と比べると、全ての年齢において、0.1～0.5kg下回っている。
- ・女子は、前年度県平均と比べると、6歳～9歳、11歳、12歳、14歳～17歳で同じか最大で0.4kg上回っているが、全国平均と比べると、12歳、14歳、17歳は、同じか0.2kg上回っているが、それ以外の年齢では0.1～0.5kg下回っている。

身体の発育と運動は非常に密接な関係があることから、今後は、学校生活や日常生活の中で、積極的に体育活動に取り組むように促すとともに、望ましい生活習慣を身に付けられるように各学校の実態に応じて指導していくことが大切である。

## 2 疾病状況について

疾病状況について、疾病異常被患率を全国平均や平成27年度の県の平均等と比較してみると次のようになる。

- ### (1) 脊柱・胸郭・四肢異常（※四肢が平成28年度から追加された）
- 全国平均との比較では、幼稚園の男女以外の年齢層において下回っている。

(2) 裸眼視力(1.0未満)

前年度の県平均との比較では、高等学校の女子を除いて上回っており、ここ数年をみても全体的に増加傾向となっている。

なお、全ての年齢層において全国平均よりも高くなっている。

(3) う歯(むし歯)

前年度の県平均との比較では、全ての年齢層(幼稚園から高等学校)において、被患率は低くなっており、ここ数年をみても減少傾向となっている。

なお、中学校女子と高等学校男女は、全国平均よりも低い被患率となっている。

(4) 心臓の疾病・異常

前年度の県平均の比較では幼稚園の女子以外で増加している。また、幼稚園の女子以外は全国平均を上回っている。

(5) 腎臓疾患

前年度の県平均の比較では中学校男女と高等学校女子が増加している。

また、高等学校の男女以外は全国平均を下回っている。

健康診断や、日常の健康観察の結果を踏まえ、医療機関での精密検査や、治療を勧め、必要な事後措置を行うことは重要である。

保護者や関係機関等と連携を図りながら、今後も健康相談や保健指導を通して、一人ひとりの健康状態の把握や管理に努めることが望まれる。